

執筆者紹介

■大貫 進一郎

日本大学学長、日本大学理工学部教授。博士(工学)。1991年日本大学理工学部卒業。2000年日本大学大学院理工学部研究科電気工学専攻博士後期課程修了。イリノイ大学ボストン校トラル研究员、客員講師を経て、2015年日本大学教授。2022年日本大学副学長。2024年より現職。

■小田 まり子

小田 まり子 久留米工業大学学長補佐。AI応用研究所 所長。工学部情報ネットワーク工学科 教授。2012年佐賀大学大学院博士課程修了。博士(工学)。専門分野は教育工学。2020年より現職。本学のAI・数理・データサイエンス教育全般を担当。

■八坂 亮祐

久留米工業大学PCサポートセンター、教育研究コーディネーター。2017年鹿児島大学大学院連合農学研究科博士課程修了。博士(農学)。2021年より現職。プログラミングやAI等の研究・教育に取り組む。

■春田 大河

久留米工業大学大学院工学研究科電子情報システム工学専攻特任助教。2024年久留米工業大学大学院工学研究科電子情報システム工学専攻修士課程修了。同年より現職。AIを応用した地域課題に関する研究・AI教育に取り組む。

■リー・リチャード

久留米工業大学工学部共通教育(英語教育)准教授。2007年メルボルン大学大学院修士課程修了。修士(応用言語学)。専門分野は語用論。海外協定校(セントラルフィンランド大学)との連携によりPBL履修者を対象としてバーチャル海外留学を担当し、国際的視野を持つAIエンジニアの育成を実践。

■河野 央

久留米工業大学学長補佐(入試広報担当)。工学部情報ネットワーク工学科教授。AI応用研究所最新技術調査部門担当。2004年九州芸術工科大学(現九州大学)大学院博士課程修了。博士(芸術工学)。専門分野は、CG・VR応用。大学DXや入試広報から見た教学改善にも取り組む。

■佐藤 幸代

南山大学国際センター特別任用講師。2019年名古屋大学大学院教育発達科学研究科博士前期課程修了。航空会社・大学職員・学術専門職等を経て2023年から現職。専門は高等教育、キャリア教育、専門職論。現在は、大学の国際化文脈の学生支援(多文化交流学生びあ活動、国際教育寮、外国人留学生キャリア形成支援等)に従事。

■萩原 里紗

早稲田大学Office of the Global Citizenship Center教育連携担当課長。民間IT企業を経て、2016年早稲田大学キャリアセンター課長に就任。現在は、学生と社会との接続を意識した地域連携・産学連携に関する教育プログラムの企画運営に携わり、Global Citizenship Center設立後は、「貢献の早稲田」に関する学内の様々な取組みの推進も努める。

■片岡 竜太

昭和大学歯学部歯教育学講座客員教授。1989(昭和64)年昭和大学大学院歯学研究科顎顔面外科学専攻卒業。1994年~2000年University of North Carolina, UNC Craniofacial Center(米国)Research Associate。2011年歯学部スペシャルニーズ口腔医学講座歯教育学部門教授。2022年~2023年歯学部歯教育学講座教授。

■下村 智子

三重大学学長補佐、教育推進・学生支援機構全学共通教育センター准教授。2004年広島大学大学院教育学研究科博士課程後期教育人間科学専攻単位取得退学、2018年三重大学教育院准教授、2024年より現職。2023年度より三重大学PBL教育推進プロジェクト代表。専門分野は比較国際教育学。

■奥村 圭司

東京科学大学データサイエンス・AI全学教育機構特任准教授。2012年東京工業大学大学院理工学研究科物性物理学専攻博士課程修了。博士(理学)。同年東京大学生産技術研究所研究員。2023年より東京工業大学データサイエンス・AI全学教育機構特任准教授。リテラシーレベルを中心に学上課程のデータサイエンス・AI教育に従事。

■二宅 美博

東京科学大学情報理工学大学院教授。データサイエンス・AI全学教育機構長。1989年東京大学博士後期課程修了(薬学博士)、1996年より東京工業大学知能システム科学専攻助教授、2012年より同教授。2019年より大学院を中心とする国内初のデータサイエンス・AI全学教育プログラムを開始。2022年データサイエンス・AI全学教育機構を設立。

■平井 佑樹

信州大学学術研究総合人間科学系(全学教育センター)准教授。2007年東京学芸大学教育学部卒業。2009年東京学芸大学大学院教育学研究科修了。2012年筑波大学大学院図書館情報メディア研究科博士後期課程修了。博士(情報学)。2023年4月より現職。教育工学、情報工学、高大接続に関する研究に従事。

■福垣 知宏

広島大学情報メディア教育研究センター教授。広島大学大学院理学研究科博士課程修了。博士(理学)。広島大学総合科学部講師、広島大学情報メディア教育研究センター准教授などをを経て、2015年より現職。データサイエンス教育、一般情報教育に携わる。

■村上 祐子

広島大学情報メディア教育研究センター助教。広島大学大学院理学研究科博士課程修了。博士(理学)。大学生のAI利用状況やAIに対する印象を分析し、その関連性を研究。AI不安尺度の開発を進めており、生成AIの教育活用に関する研究も展開。

■史 一華

西南学院大学情報処理センター所長、商学部教授。九州大学大学院博士後期課程修了。博士(理学)。

■井手 順子

西南学院大学人間科学部社会福祉学専攻准教授。佐賀大学大学院工学系研究科博士後期課程修了。博士(工学)。

■新原 俊樹

西南学院大学情報処理センター助教。九州大学大学院統合新領域学府博士後期課程修了。博士(ライブラリーサイエンス)。気象庁・内閣府・学校法人麻生塾を経て、2022年から現職。数理・データサイエンス・AI教育プログラムの導入に従事。

*本欄はお書きいただいた資料からできるだけ統一し、掲載しました。

■安岡 文彦

サイバー大学IT総合学部長、教授。東京工業大学情報工学科卒業、静岡工学部大学院理工学研究科システム科学専攻博士後期課程修了。博士(工学)。2019年より現職。専門は知能情報学、教育工学。AIを活用した学習支援システム、ラーニングアナリティクスなどに関する研究に興味を持つ。

■青木 悠樹

群馬大学数理データ科学教育研究センター教授、同センター長。1999年東京工業大学理学部中退。2004年東京工業大学理工学研究科博士後期課程修了。博士(理学)。米国立ガース州立大学ボストン校、2014年より群馬大学教育学部講師に就任し教育工学に従事。2022年より現職。

■鈴木 裕之

群馬大学数理データ科学教育研究センター教授。1998年東京工業大学工学部電気電子工学科卒業。2003年東京工業大学総合理工学研究科博士後期課程中退。博士(工学)。2023年より現職。生体認証、情報セキュリティ、医療情報システム、医用画像処理、光情報処理の研究に従事。

■松元 亮治

千葉大学大学院理学研究院教授、千葉大学データサイエンス教育実施本部副本部長。1988年3月京都大学大学院理学研究科宇宙物理学専攻修了(理学博士)。1998年4月千葉大学理学部教授。2014年4月~2017年3月千葉大学理事(研究担当)を経て2017年4月より現職。専門は宇宙物理学、計算科学。

■田村 宏樹

宮崎大学工学教育研究部電気電子工学プログラム担当教授、学び・学生支援機構数理・データサイエンス部門部長。2000年宮崎大学工学研究科修了、2000年旭化成工業株式会社入社。2015年宮崎大学工学教育研究部環境ロボティクス学科教授を経て現在に至る。専門はソフトウェアエンジニアリング、生体情報処理、医工連携研究を主としている。

■権原 良典

豊田工業大学工学部准教授。2007年東京大学大学院博士課程修了。博士(工学)。産業技術総合研究所計算科学研究部門、東京大学生産技術研究所を経て、2016年より現職。専門は原子シミュレーションを軸とした計算材料力学。

■藤原 茂喜

豊田工業大学工学部教授。1984年大阪大学工学部精密工学科卒業。1986年大阪大学大学院工学研究科精密工学専攻博士前期課程修了。松下電工株式会社(現パナソニック株式会社)にてメカトロニクス系の研究開発に従事。2004年東京大学大学院工学系研究科より論文博士(工学)。2015年より現職。

■山口 文彦

豊田工業大学工学部教授。2001年に慶應義塾大学にて博士(工学)を取得。国際大学対抗プログラミングコンテストの地区予選審判・パソコン甲子園プログラミング部門審査委員など、高大にわたって競技プログラミングに関わる。

■三輪 誠

豊田工業大学工学部教授、産業総合技術研究所人工知能研究センター招聘研究員。2008年東京大学大学院博士課程修了。博士(科学)。東京大学、マンチェスター大学、豊田工業大学准教授を経て、2015年より産業総合技術研究所招聘研究員、2024年より現職。

■皆本 晃弥

佐賀大学全学教育機構数理・データサイエンス教育推進室長。佐賀大学教育研究院自然科学城理工学系教授。1997年九州大学数理学研究科数理学専攻単位取得退学、博士(数理学)。2000年佐賀大学理工学部知能情報システム学科講師、同准教授などを歴任。

■二瓶 裕之

北海道医療大学薬学部教授、情報センター長。博士(工学)(北海道大学)。1994年北海道大学大学院工学研究科電子工学専攻博士課程単位取得退学。2014年4月より現職。ICT活用システムの開発と教育改善、データサイエンス教育に関する研究に従事。eラーニングアワード文部科学大臣賞(2024)等を受賞。

■西牧 可織

北海道医療大学心理学部講師。博士(情報科学)。2015年北海道大学大学院情報科学研究科情報エレクトロニクス専攻博士後期課程修了。同年4月より現職。大学教育における学修支援システムの開発・データサイエンス教育に関する研究に従事。

■高橋 祐司

北海道医療大学医療技術学部講師、情報センター運用主任(技術開発支援担当)。博士(保健科学)。2015年北海道大学大学院保健科学研究科保健科学専攻保健科学コース博士課程単位取得退学。2017年4月より現職。臨床検査技術養成における学修支援システム・国家試験合格予測AIに関する研究に従事。

■南津 佳広

大阪電気通信大学共通教育機構准教授。専門は通訳翻訳学およびTILT (Translation, Interpreting, and Language Teaching)。これまで、通訳や翻訳における相互理解について研究を深めてきた。最近では、生成AI技術を活用した言語教育の可能性について多角的に研究。

■工藤 多恵

関西学院大学工学部教授。専門は英語教育。学習者の自律性を高める教授法やアプローチに関心を持つ。最近では機械翻訳や生成AIなどのテクノロジーを取り入れた場合の教育効果について実証的に研究。

■藤本 孝一郎

城西短期大学ビジネス総合学科教授。亜細亜大学大学院法学研究科(博士前期課程、商法学)。1994年城西大学女子短期大学部(専任講師)、城西大学情報科学研究センター研究員を経て現在に至る。

■山本 公敏

常葉大学経営学部准教授。明治大学大学院商学研究科博士後期課程単位取得。2004年富士常葉大学流通経済学部講師を経て現在に至る。ドイツ会計制度、中小企業会計、非営利組織会計等に関心を持つ。

■坂本 眞一郎

常葉大学経営学部教授、宮城大学名誉教授。東京工業大学大学院総合理工学研究科博士後期課程単位取得退学。医学博士、経済学博士。宮城大学教授、常葉大学教授、経営学部長を経て現在に至る。日本臨床医学情報系学会会長、日本医療福祉学会会長、国際ICT利用研究会理事、日本ビジネスマネジメント学会会長、経営関連学会協議会評議員等。